

大学と同窓会の これから。

名古屋学院大学の同窓会は今年で45周年、また、名古屋学院大学は来年で50周年を迎えます。互いに節目となる2013年・2014年。現状、そして今後、同窓会と大学をどう導いていくのかを、稲垣理事長と木船学長、小川同窓会会長が語っていただきました。



今までにない試みて
つながりを広げていく。

名古屋学院大学同窓会が今年45周年を迎えるにあたり、まずは小川同窓会会長よりお言葉をいただきます。

小川会長(以下小川) この度同窓会45周年ということで、式典の運営に向けてほぼ内容が固まりつつあります。日程は11月17日(日)。講演の講師も決まり、「今でしょ」でおなじみの林修さんをお迎えすることになりました。

木船学長(以下学長) 同窓会45周年おめでとうございます。講演も話題の人に決まり楽しみです。

小川 はい、ありがとうございます。また、同窓会の会報ですが、脇田広報委員長が今までにないような企画をいろいろ提案してくださっています。例えば、従来ですとクラブ紹介だけでしたが、今年は「今昔物語」と題し、歴代のキャプテンと現役キャプテンとの対談を企画し掲載しようという形になりました。**稲垣理事長(以下理事長)** それはいいですね。在学生が卒業生との繋がりを意識するきっかけになると思いますし、学生気質の違いなども浮かび上がると面白いですね。

小川 あとはいかに封を開けさせるかです。**脇田広報委員長** いろいろな世代の卒業生に楽しく見ていただけるような広報誌にしたかったので、今回はどんなプランであってもチャレンジして、一度やってみようじゃないかと。期待に応えるよう一生懸命

制作しております。

同窓会としての今後の抱負についてはいかがですか。

小川 今最も気にしているのは、住所不明者が多いことですね。会報誌を送っても、毎年800通くらいは戻ってきてしまうのが現状。我々が発信する情報をいかに多くの同窓生に届けられるかが課題です。

そしてもう一つはホームカミングデー。委員会の試みとして、招待券の無料の文字が目立つデザインに変更したところ、出席率が2倍に増えました。

安藤副会長(以下安藤) 昨年は同窓が結成しているマンドリンクラブと、同じく同窓



名古屋学院大学 学長
木船 久雄



学校法人 名古屋学院大学 理事長
稲垣 隆司



同窓会 会長
小川 博司